



編集発行／静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内 ☎054-254-5224 FAX 054-251-7508

## 民生委員制度創設100周年記念・児童委員制度創設70周年記念 静岡県民生委員児童委員大会



11月22日(水)、民生委員制度創設100周年記念・児童委員制度創設70周年記念 静岡県民生委員児童委員大会が開催され、静岡県内から2,700人の民生委員・児童委員が静岡県コンベンションアーツセンターグランシップに集いました。

式典では、川勝平太静岡県知事、田辺信宏静岡市長、鈴木康友浜松市長からご祝辞を賜り、大会が盛大に執り行われました。

# 式典次第

## 記念映像放映

### 式典

#### 開会挨拶

浜松市民生委員児童委員協議会会長 稲田謙一

民生委員・児童委員物故者默祷

民生委員児童委員信条朗読

#### 式辞

静岡県民生委員児童委員協議会会長 松下悦郎

#### 来賓祝辞

静岡県知事 川勝平太 氏

静岡市長 田辺信宏 氏

浜松市長 鈴木康友 氏

衆議院議員 日吉雄太 氏



静岡県民生委員児童委員協議会  
杉本副会長

#### 笠井信一氏御令孫祝辞

#### 来賓紹介

民生委員児童委員功労者への感謝状の贈呈

静岡県共同募金会からの感謝状の贈呈



静岡県民生委員児童委員協議会  
松下会長

## 記念座談会

### 「民生委員制度創設の原点と これからの民生委員児童委員活動について」

登壇者 全国民生委員児童委員連合会

顧問 天野隆玄 氏

顧問 堀江正俊 氏

神戸女子大学健康福祉学部

教授 小笠原慶彰 氏

進行役 司会 石森恵美 氏



#### 大会宣言

#### 民生委員の歌齊唱「花咲く郷土」

静岡市民生委員児童委員協議会 合唱隊

#### 閉会挨拶

静岡市民生委員児童委員協議会会長 後藤昌弘

# 式辭

● ● ●

## 松下 悅郎

静岡県民生委員児童委員協議会 会長



しども民生委員・児童委員にとりまして、この上ない喜びであります。

これまで多大なる御支援を賜りました皆様に対し、静岡県内六千七百人余の民生委員・児童委員を代表し厚くお礼申し上げます。



一〇〇周年という節目は、次なる一〇〇年に向けたスタートでもあります。

静岡県民生委員児童委員協議会並びに浜松市民生委員児童委員協議会では、静岡県における民生委員・児童委員活動「一〇〇周年強化方策」を策定いたしました。

さて、静岡県富士市出身で、第十三代静岡県知事を務められた笠井信一氏が、岡山県知事を務められたときに創設されました済世顧問制度に遡る民生委員制度は、この一〇〇年にわたり、数えきれない先達の努力により、人びとの信頼を得て、社会にしつかれておりと根付き、我が国が世界に誇るべき財産ともなりました。

本方策は、昭和二十六年に制定され、以降、民生委員・児童委員の基本的態度及び目標を簡明に示した座右の銘として位置付けられております「民生委員児童委員信条」の意義を問い合わせ、「誰もが笑顔で、安全に、そして安心して生活することができる地域づくり」に、これまで以上に邁進することをここにお誓い申します。

式辞、本日ここに、川勝 静岡県知事、田辺 静岡市長並びに鈴木 浜松市長をはじめ、多くの御来賓の御臨席を賜り、民生委員制度創設一〇〇周年記念児童委員制度創設七十周年記念静岡県民生委員児童委員大会を開催できましたことは、わたく

私たち民生委員児童委員活動の基本である地域に根ざす、このことを改めて心に刻むとともに、先達の想いや情熱、そしてよき隣人として人びとに寄り添う姿勢、これを今後も守り続けていくことが、お寄せいただく信頼、そして御期待に応えることにつながるものと存じます。

日頃から御支援、御協力を賜つております、すべての皆様に改めて深く感謝申し上げるとともに、静岡県内の民生委員・児童委員がその力を結集し、「誰もが笑顔で、安全に、そして安心して生活することができる地域づくり」に、これまで以上に邁進することをここにお誓い申し上げ、式辞いたします。

# 記念大会の様子

平成29年11月22日(水) グランシップ



笠井信一氏の遺品や歴史的資料を展示しました。

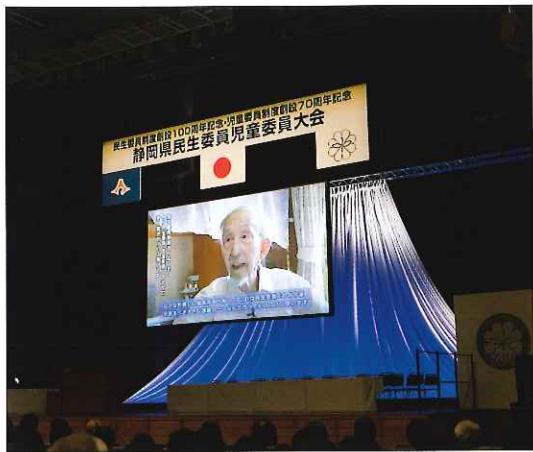


県内の福祉施設で作られた製品の販売を行いました。

## 開会挨拶



浜松市民生委員児童委員協議会会长  
稻田 謙一



笠井信一氏御令孫の  
インタビュー映像を  
放映しました。



### 民生委員児童委員功労者感謝状贈呈



民生委員児童委員功労者の皆様  
左から

浜松市民生委員児童委員協議会前会長	荻野 英子氏
静岡市民生委員児童委員協議会前会長	和田 哲也氏
静岡県民生委員児童委員協議会前会長	越川 年氏
静岡県民生委員児童委員協議会元会長	天野 隆玄氏

民生委員児童委員功労者へ感謝状を贈呈しました。  
受領者代表は、静岡県民生委員児童委員協議会元会長  
天野 隆玄氏

### 記念座談会



### 閉会挨拶



静岡市民生委員児童委員協議会会长 後藤 昌弘



静岡市民生委員児童委員協議会合唱隊のリードにより、  
「花咲く郷土」を斉唱しました。



## 記念座談会

### テーマ 「民生委員制度創設の原点とこれからの民生委員児童委員活動について」

『民生委員制度創設の原点』について、小笠原教授から「方面委員制度の本質」、天野顧問、堀江顧問から御自身の経験を踏まえ大切にしてきたこと、また『これからの民生委員児童委員活動』について、3名の方々からお話をいただきました。

**登壇者** 天野 隆玄氏（全国民生委員児童委員連合会顧問・静岡県民生委員児童委員協議会顧問）

堀江 正俊氏（全国民生委員児童委員連合会顧問）

小笠原 慶彰氏（神戸女子大学健康福祉学部教授）

**進行役** 石森 恵美氏（司会）





神戸女子大学健康福祉学部教授  
小笠原 慶彰氏

## 方面委員制度の本質について

- 林市蔵氏は大阪府知事退官後も、「方面委員道場」と称した委員会で「無報酬の報酬」「情けは人のためならず」と思いを伝え続けた。無報酬であるからこそ、隣人として、水平の立場に立って物事を考えることができる。だからこそ、100年にわたり、民生委員制度が続いてきたと思われる。
- 豊かであれば民生委員児童委員はいらない。どんな時代にも、生活に困っている人はいる。これから100年も問題はある。問題に対し、全国23万人の民生委員児童委員が気づき、考え、行動することで、今後もつながる制度となる。

## 民生委員児童委員として大切にしてきたこと

- 笠井信一氏の言葉、「一村 その人を得るならば 村は安し」のような民生委員児童委員にならなければと、39年間活動をしてきた。
- 民生委員児童委員は、住民のみなさんとの心の拠り所である。笑顔にまさる化粧なし。喜びは人様に、良いことは人様に。このような心を持った地域づくりを期待する。
- 子どもにまさる宝なし。子育ては「両手の愛」で、片手では愛情がこぼれ落ちてしまう。  
地域での子育てに取り組んでほしい。



全国民生委員児童委員連合会顧問  
堀江 正俊氏

## 民生委員児童委員として大切にしてきたこと



全国民生委員児童委員連合会顧問・  
静岡県民生委員児童委員協議会顧問  
天野 隆玄氏

- 32歳で民生委員児童委員を受任した。この間、自分の職業だけでは知りえない社会を教えていただいた。様々な立場の人と関わることで、学びがあり心が広くなった。この事は退任してから気づいた。
- 民生委員児童委員の根本は、誰もが望む、不安や心配のない楽しい世の中、そのお手伝いをすること。すべてのものに感心を持ち、自分なりの考えを持つ。相手の立場に立ち、相手の将来を見据えたお手伝いをして差し上げることが原点。
- 子どもの虐待問題について、表に出ているのは、氷山の一角。社会がもっと真剣に考え、社会を教育しなくては。向こう3軒両隣の絆を改めて大切にしてほしい。

次のとおり「大会宣言」が採択されましたので、御報告いたします。

## 大 会 宣 言

戦前戦後の福祉制度が不十分であった時代には、多くの先達が目前にある「福祉的援助を要する人々」に対し財政的な裏付けもない中で、どのような援助ができるか苦悩し、静岡県の民生委員が提唱した「世帯更生運動」にみるように、「貧困からの脱出」という社会目標に向け、努力を積み重ねてきました。

その後においても、常に「良き隣人」として人々に寄り添い、身近な相談相手となり、行政や福祉サービスへのつなぎ役を担ってきました。



こうした様々な実践が人々の信頼を得、民生委員・児童委員制度は社会に根付き、我が国が世界に誇るべき財産ともなりました。

しかしながら、少子・高齢化の進行や、産業化、国際化の中で、かつての伝統的な家庭や地域の相互扶助機能は弱体化し、地域住民相互の社会的な「つながり」が弱くなってきたことは否定できません。

また、民生委員制度創設以来の課題である貧困をはじめ、「社会的孤立」の問題が深刻化している中で、今、国をあげて進めている地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくりは、地域社会における「つながり」の再構築であるといえます。

永い歴史と先達が、貴い実践活動から築いてきた隣人愛を基本とする活動は、常に「住民の福祉向上のために、何をすべきか、何ができるか」を信条としてきました。

今も昔も「住民の声なき声を代弁し、常に住民の立場に立った活動」は、民生委員・児童委員活動の核心をなすもので、継承してきた貴い意志であることを忘れてはなりません。

この制度を生み育ててきた先達も常に言い続けています。民生委員・児童委員制度の宝は「人」あります。

今改めて、民生委員・児童委員制度の創設の趣旨に立ち返り、これまで民生委員・児童委員が全国で取り組んできた住民の立場に立った生活支援活動をさらに強化し、基本的人権の尊重に立脚した活動を一層進めていく必要があります。

本日、県内6,700人余の民生委員・児童委員を代表してここに集った私たちは、先達の努力と情熱に改めて思いをいたし、その上にたって「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会」の実現に向けて、新たな歴史の一歩を踏み出すにあたり、強い決意をもって次のとおり宣言します。

- 一、「民生委員児童委員信条」を胸に、常に地域住民の立場に立った活動を行います
- 一、地域共生社会の実現に向けて、地域のつながり、地域の力を高めるために取り組みます
- 一、さまざまな課題を抱えた人々を支えるために、幅広い関係者、関係機関との連携・協働を一層進めます
- 一、我が静岡県の未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、子育てを応援する地域づくりに取り組みます
- 一、「災害時一人も見逃さない運動」の精神を継承し、地域で支え合う、災害に備えた地域づくりに取り組みます
- 一、創設70周年を迎えた共同募金運動に賛同し、地域を取り巻くさまざまな福祉課題を解決する募金活動に協力していきます
- 一、民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくため、住民にとってより身近な存在となるよう周知活動に取り組み、その理解を広げます

平成29年11月22日

民生委員制度創設100周年記念・児童委員制度創設70周年記念  
静岡県民生委員児童委員大会